

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社うかい 上場取引所 大
 コード番号 7621 URL http://www.ukai.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大工原 正伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 潮 一生 (TEL) 042-666-3333
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,030	0.0	488	△30.7	411	△33.4	218	△26.5
24年3月期第3四半期	9,030	—	704	—	618	—	297	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	44.39	44.23
24年3月期第3四半期	60.42	60.19

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,015	4,069	33.6
24年3月期	12,134	3,886	31.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,034百万円 24年3月期 3,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,610	△0.1	373	△34.8	278	△40.8	124	△60.2	25.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	5,229,940株	24年3月期	5,229,940株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	298,456株	24年3月期	306,356株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	4,925,090株	24年3月期3Q	4,923,587株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株E S O P信託口が所有する当社株式数116,700株を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災による復興需要等を背景として、緩やかな回復がみられるものの、海外経済を取り巻く環境への懸念や近隣諸国との関係の悪化、長期間に亘った円高及びデフレなど依然として厳しい環境の中で推移しました。

外食産業におきましても、消費者の雇用や所得環境に対する先行きの不透明感から、生活防衛意識による節約志向の高まりや産業内での競争の激化など、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このように消費者が対価に対する価値を厳しく吟味し、消費する状況下におきましては、より安全・安心かつ満足感をもてる魅力ある店が求められます。このような時代だからこそ、当社の強みである本物の追求、感動や喜び、伝統に基づく独自の精神や世界観をお客様と共有し、そして新たな価値をお客様へ提供しつづける店づくりを推進してまいりました。

組織的な動きとして、平成24年5月には東アジアを重点市場にブランド戦略のグローバル化を目的に「海外戦略室」を設置、また業務効率の最適化及び機動的な業務遂行の実現を目的に段階的に組織内の再編成を行いました。同年11月には既存店の魅力強化を目的に製菓土産品を製造する拠点として「アトリエうかい」を開設し、まずは洋食の郊外店舗にて販売をはじめました。

前年度は震災直後ということもあり危機意識のもと経費の圧縮に努めてまいりましたが、今まで培ってきたブランドを更にみがき、新たな挑戦をしていくために、当年度は既存店の強化と中長期的な人材の育成に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間では売上高9,030百万円(前年同四半期比0.0%増)、営業利益488百万円(同30.7%減)、経常利益411百万円(同33.4%減)、四半期純利益218百万円(同26.5%減)となりました。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

〔飲食事業〕

和食事業では東日本大震災の影響による反動や継続的なイベントの好調に加え、当第3四半期では全店を通して結婚式や七五三などのお祝いの席が好調だったことにより、来客数・客単価の増加に寄与し、売上高4,269百万円(同1.5%増)となりました。

洋食事業では厳しい経営環境の中、都心店舗では環境の変化をあまり受けず来客数は増加しているものの、郊外店舗では接待需要が減少し、来客数・客単価ともに減少しました。また、上期の商品売上の減少による客単価の減少の影響も大きく、売上高3,737百万円(同1.5%減)となりました。

その結果、飲食事業としては売上高8,007百万円(同0.1%増)となりました。

〔文化事業〕

箱根ガラスの森では、東日本大震災の影響による反動に加え、平成24年4月から11月まで開催した「煌めくヴェネチアンビーズ展」が好評だったことにより上期は前年に対し増収で推移していたものの、11月、12月の来客数が減少したことから、売上高1,023百万円(同0.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期累計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ119百万円減少し、12,015百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加165百万円、たな卸資産の増加44百万円、固定資産の減少177百万円、繰延税金資産の減少143百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期累計期間末における負債は、前事業年度末に比べ301百万円減少し、7,945百万円となりました。主な要因は、有利子負債の減少715百万円、買掛金の増加73百万円、預かり保証金353百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期累計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ182百万円増加し、4,069百万円となりました。主な要因は四半期純利益218百万円、剰余金の配当による減少49百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期業績につきましては、平成24年11月9日に公表いたしました「平成25年3月期 第2四半期 決算短信」及び「平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した数字から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる財務諸表に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(従業員インセンティブ・プラン「従業員持株E S O P信託」における会計処理)

当社は、平成24年8月9日開催の取締役会決議に基づき、当社の成長を支える従業員に対する福利厚生制度をより一層充実させるとともに、株価上昇へのインセンティブを付与することにより、当社の業績や株式価値に対する従業員の意識を更に高め、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株E S O P信託」の導入をしております。

本プランでは、「うかい社員持株会」(以下「当社持株会」という。)へ当社株式を譲渡していく目的で設立する「従業員持株E S O P信託口」(以下「E S O P信託口」という。)が、平成24年9月以降5年間にわたり当社持株会が取得する規模の株式を予め一括して取得し、当社持株会へ売却を行います。

当社株式の取得及び処分については、当社がE S O P信託口の債務を保証しており、経済的実態を重視し、当社とE S O P信託口は一体であるとする会計処理を採用しております。従って、E S O P信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債並びに費用及び収益については、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書に含めて計上しております。このため、自己株式については、E S O P信託口が所有する当社株式を自己株式に含めております。

なお、平成24年12月31日現在においてE S O P信託口が所有する自己株式数は116,700株であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	600,210	765,623
売掛金	385,106	396,417
商品及び製品	140,906	162,138
原材料及び貯蔵品	264,797	287,811
繰延税金資産	62,821	31,270
その他	150,902	162,680
貸倒引当金	△164	△167
流動資産合計	1,604,580	1,805,773
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,992,900	9,062,908
減価償却累計額	△4,490,986	△4,715,135
建物(純額)	4,501,913	4,347,772
土地	2,406,750	2,406,750
建設仮勘定	1,270	20,665
美術骨董品	1,080,579	1,078,721
その他	3,204,719	3,283,988
減価償却累計額	△2,351,584	△2,480,156
その他(純額)	853,135	803,832
有形固定資産合計	8,843,649	8,657,742
無形固定資産	107,307	115,279
投資その他の資産		
投資有価証券	26,126	28,383
繰延税金資産	379,567	267,890
敷金及び保証金	987,887	988,134
その他	185,166	151,881
投資その他の資産合計	1,578,747	1,436,289
固定資産合計	10,529,704	10,209,311
資産合計	12,134,284	12,015,085

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,401	340,279
1年内償還予定の社債	450,000	330,000
短期借入金	50,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	1,960,749	1,565,939
未払法人税等	28,703	49,474
賞与引当金	88,239	21,951
その他	696,324	730,871
流動負債合計	3,540,417	3,288,515
固定負債		
社債	600,000	545,000
長期借入金	3,231,399	2,865,497
退職給付引当金	689,254	717,055
資産除去債務	114,228	116,147
その他	72,115	413,683
固定負債合計	4,706,996	4,657,382
負債合計	8,247,414	7,945,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	1,282,643	1,448,922
自己株式	△563,140	△548,618
株主資本合計	3,846,922	4,027,724
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,256	6,772
評価・換算差額等合計	5,256	6,772
新株予約権	34,691	34,691
純資産合計	3,886,870	4,069,187
負債純資産合計	12,134,284	12,015,085

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	9,030,579	9,030,951
売上原価	4,097,937	4,137,393
売上総利益	4,932,642	4,893,558
販売費及び一般管理費		
販売促進費	210,270	252,038
役員報酬	132,406	147,065
給料及び手当	1,469,913	1,523,699
賞与引当金繰入額	12,390	12,617
退職給付費用	36,446	40,597
福利厚生費	234,118	239,340
水道光熱費	143,129	160,013
消耗品費	141,022	161,708
修繕費	117,448	139,478
衛生費	151,232	155,304
租税公課	97,228	81,453
賃借料	523,500	521,732
減価償却費	293,196	291,094
その他	665,567	679,233
販売費及び一般管理費合計	4,227,870	4,405,376
営業利益	704,771	488,181
営業外収益		
受取利息	3,792	3,816
受取配当金	564	564
保険解約返戻金	3,195	0
受取手数料	3,866	3,300
その他	11,697	7,306
営業外収益合計	23,116	14,986
営業外費用		
支払利息	88,360	74,917
社債利息	7,213	5,555
社債発行費	—	2,992
その他	14,245	8,140
営業外費用合計	109,819	91,605
経常利益	618,068	411,562
特別損失		
固定資産除却損	10,403	8,090
台風による災害損失	4,746	—
特別損失合計	15,149	8,090
税引前四半期純利益	602,918	403,472
法人税、住民税及び事業税	10,612	42,338
法人税等調整額	294,824	142,487
法人税等合計	305,436	184,825
四半期純利益	297,481	218,646

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,001,930	1,028,649	9,030,579	—	9,030,579
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,001,930	1,028,649	9,030,579	—	9,030,579
セグメント利益	1,178,763	160,733	1,339,496	△634,725	704,771

(注)1. セグメント利益の調整額△634,725千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,007,688	1,023,263	9,030,951	—	9,030,951
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,007,688	1,023,263	9,030,951	—	9,030,951
セグメント利益	999,790	149,153	1,148,943	△660,761	488,181

(注)1. セグメント利益の調整額△660,761千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。